

2022年度 第3四半期  
決算説明資料

**神 鋼 商 事** 株式  
会 社

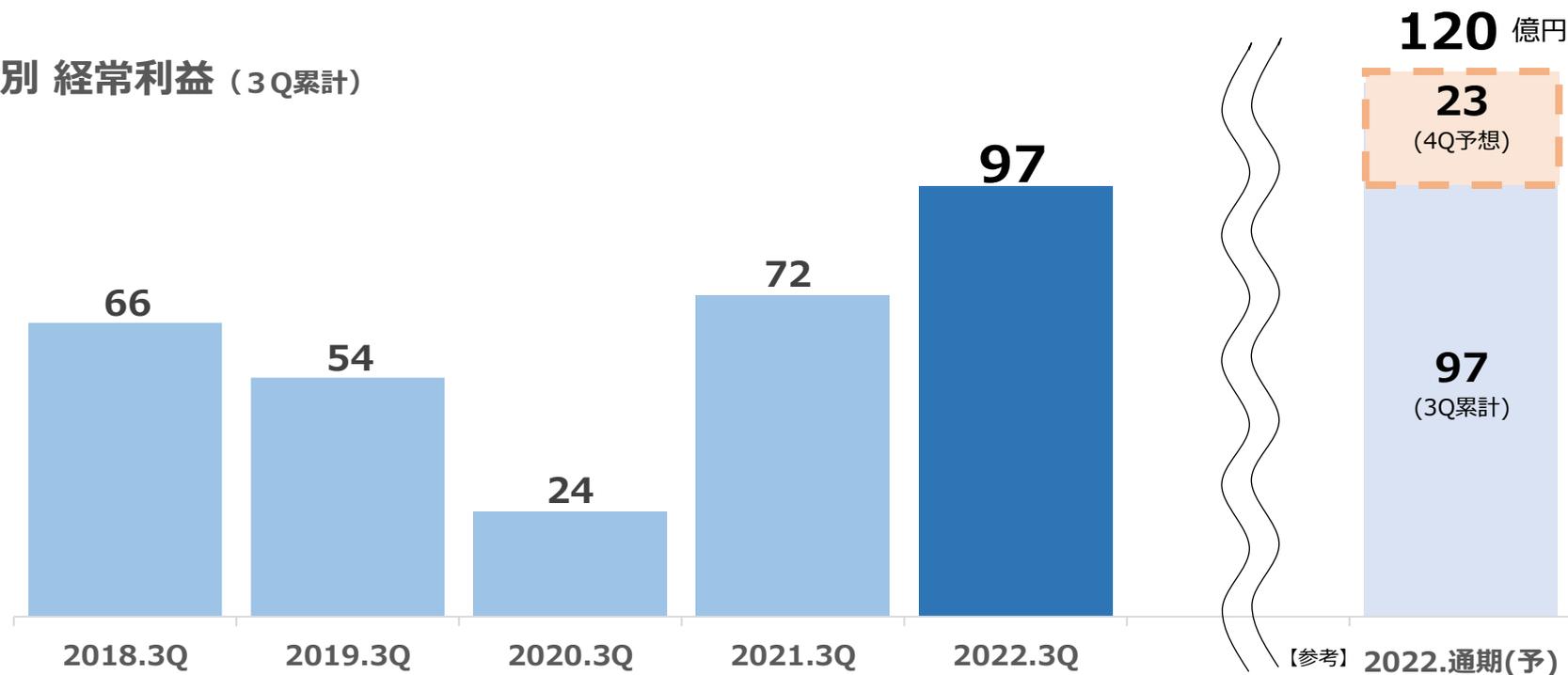
証券コード：8075

# 本資料のサマリー

## 業績概要

- 2022年度第3四半期の経常利益は97億円（第3四半期累計としては過去最高）
  - 鉄鋼セグメントは、半導体不足による自動車減産の影響を受けつつも鋼材価格の上昇等により増収増益（前年同期比）
  - 非鉄金属を除く、他セグメントも市況価格の上昇等の影響により増益（前年同期比）
  - 非鉄金属は伸銅品等の取扱数量減少により減益（前年同期比）
- 2022年度通期の経常利益は120億円予想（11月2日の業績修正から変更無し）

## 年度別 経常利益（3Q累計）



# 2022年度 3Q（累計） 連結損益計算書

- 経常利益は97億円、前年同期比+25億円の増益
- 四半期純利益は70億円、前年同期比+14億円の増益

(単位：億円)

	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	増減額	増減率(%)
売上高	3,513	<b>4,348</b>	+ 836	+ 23.8%
売上総利益	251	<b>285</b>	+ 34	+ 13.7%
販売管理費	▲177	<b>▲187</b>	▲9	-
営業利益	74	<b>98</b>	+ 25	+ 33.9%
経常利益	72	<b>97</b>	+ 25	+ 34.0%
四半期純利益	56	<b>70</b>	+ 14	+ 25.0%

※ 21年度の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の連結売上高は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

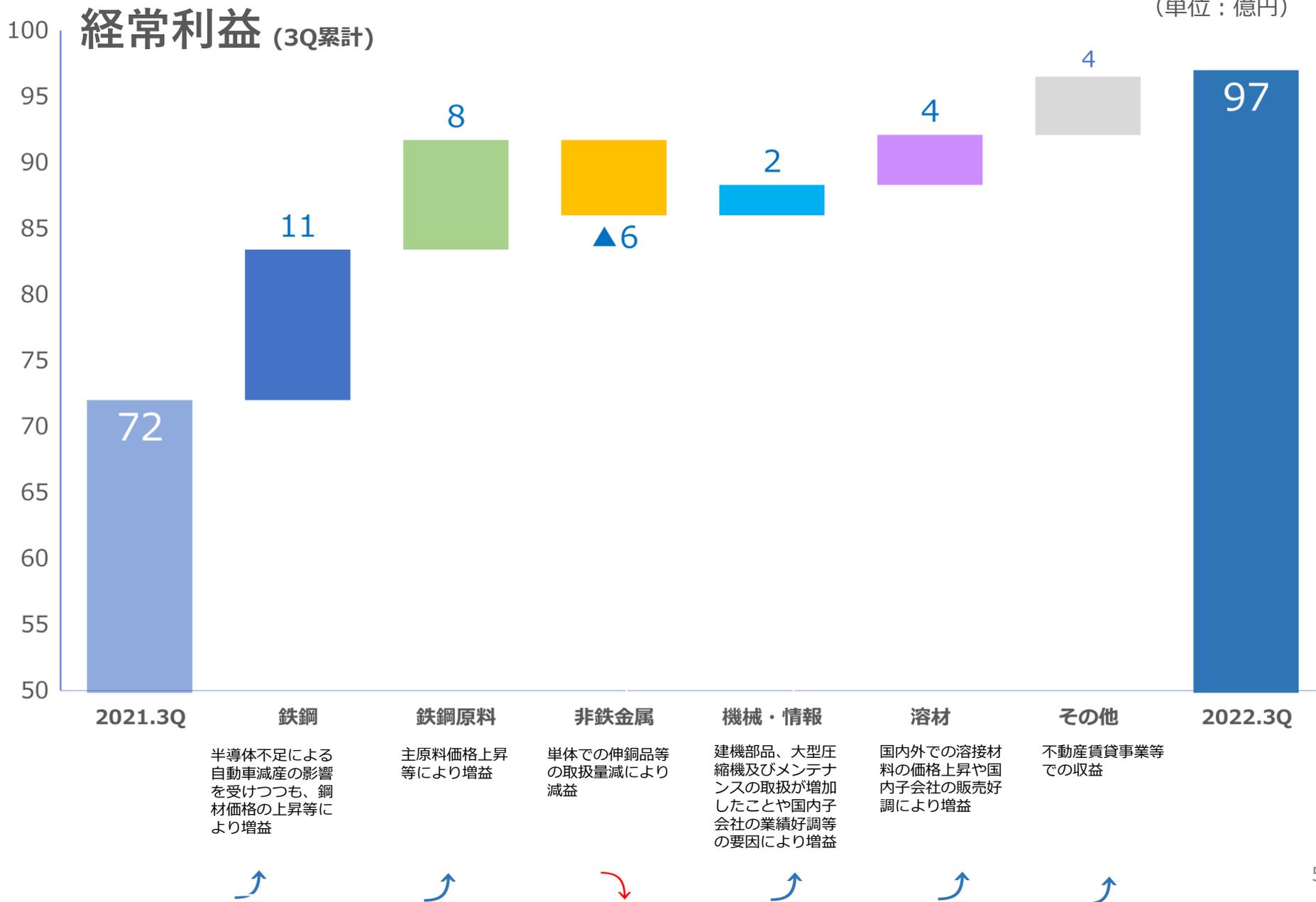
# 2022年度 3Q セグメント別 経常利益(累計)増減

(単位：億円)

	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	増減額	増減率(%)
鉄 鋼	30	41	+11	+38.6%
鉄 鋼 原 料	3	12	+8	+240.7%
非 鉄 金 属	28	22	▲6	▲20.4%
機 械 ・ 情 報	10	12	+2	+23.6%
溶 材	2	6	+4	+191.3%
そ の 他	▲1	4	+4	-
合 計	72	97	+25	+34.0%

# 2022年度 3Q セグメント別 経常利益(累計)増減

(単位：億円)



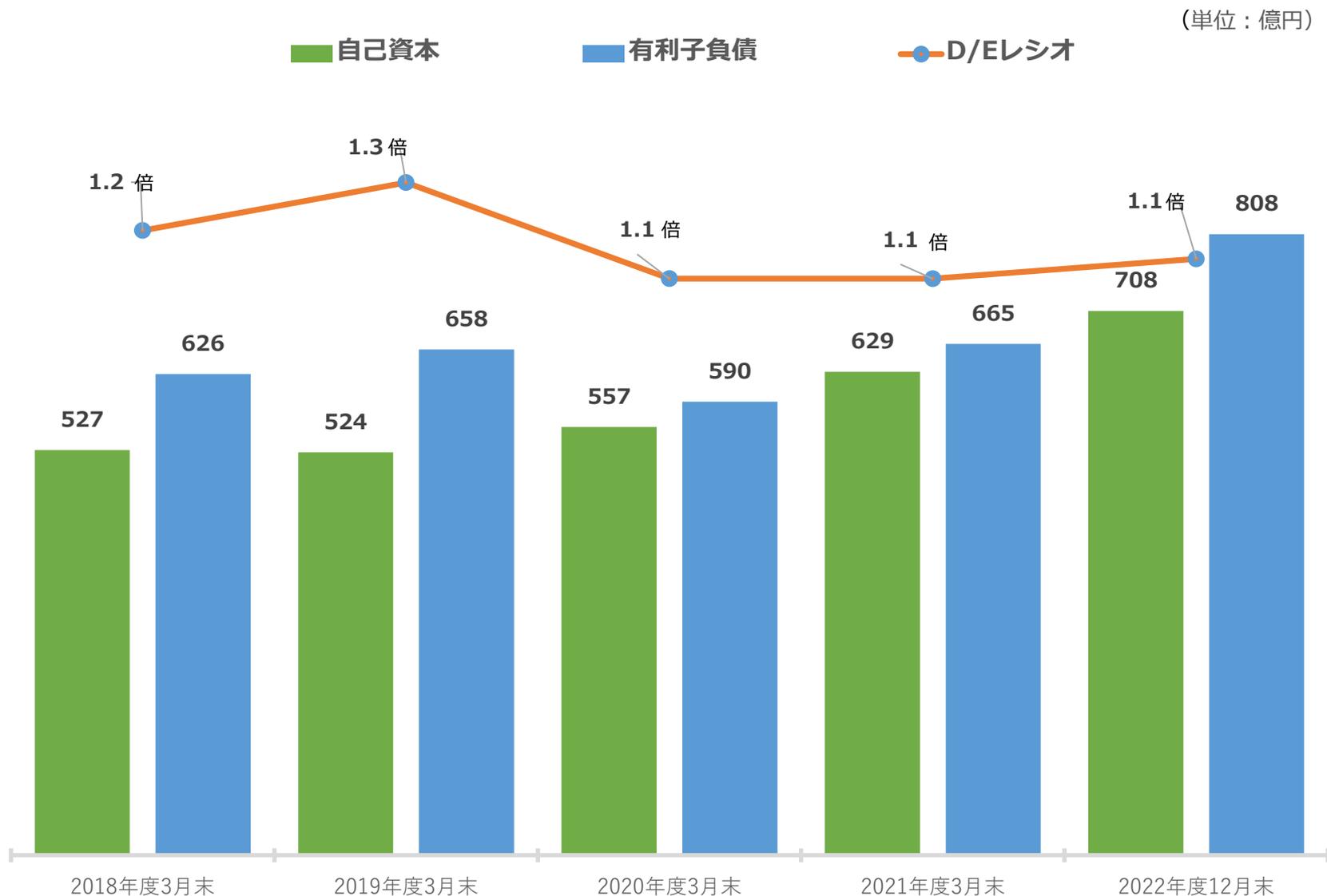
# バランスシートの状況

(単位：億円)

	2021年度 3月末 (2022.3末)	2022年度 12月末 (2022.12末)	増減額
流動資産	3,166	3,726	+560
固定資産	474	501	+27
〔有形・無形固定資産	94	102	+7
投資その他の資産	380	399	+19
<b>資産合計</b>	<b>3,640</b>	<b>4,227</b>	<b>+587</b>
流動負債	2,793	3,261	+468
固定負債	210	242	+33
<b>負債合計</b>	<b>3,003</b>	<b>3,503</b>	<b>+500</b>
自己資本	629	708	+79
非支配株主持分	8	16	+8
<b>純資産</b>	<b>638</b>	<b>724</b>	<b>+87</b>
外部有利子負債	665	808	+143
自己資本比率	17.3%	16.7%	▲0.5%
D / E レシオ	1.1倍	1.1倍	+0.1倍
1株当たり純資産	7,107.8円	8,044.7円	

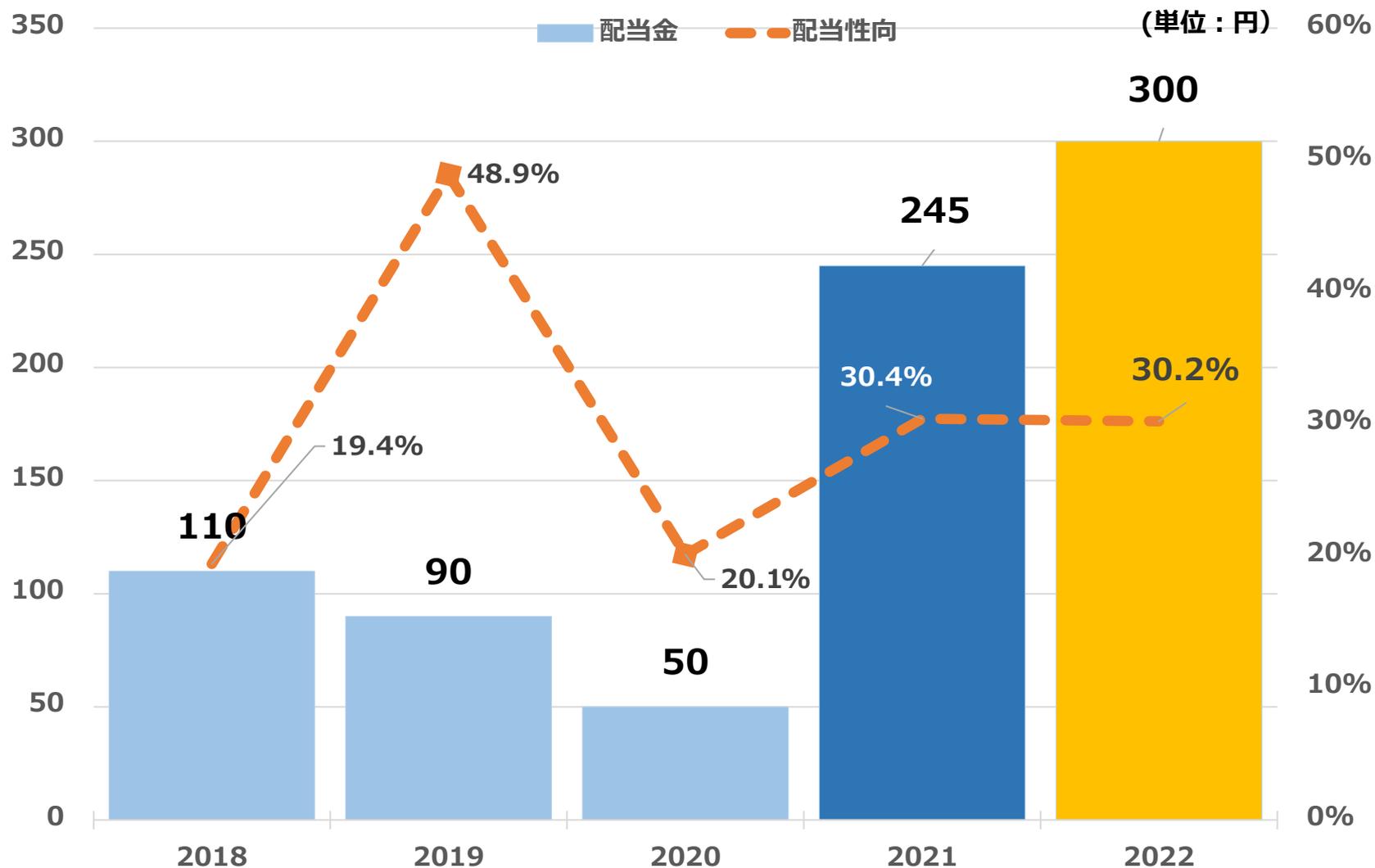
# バランスシートの状況 (自己資本・外部有利子負債 推移)

● D/Eレシオ： 1.1倍 (参考：ネットD/Eレシオ 0.9倍)



# 配当推移

- 中期経営計画にて目標配当性向を30%と設定
- 年間配当見通しを300円とする（中間150円、期末150円 2022年11月2日配当修正）



# 2022年度 通期 業績予想

- 2022年度通期の経常利益は、前期比約1.2倍の120億円を予想。
- 市況価格が高値推移する好条件支えられ、堅調に推移。

(単位：億円)

	2021年度	2022年度 (当初公表値)	2022年度 (11/2 修正値)	前年度比 増減額	前年度比 増減率
売上高	4,944	5,400	5,770	+826	16.7%
営業利益	101	97	119	+18	18.4%
経常利益	97	106	120	+23	23.4%
当期純利益	71	70	88	+17	23.3%
1株当たり 当期純利益	805.9円	790.5円	1,000.0円	+194.1円	+24.1%
配当金(円)	245円	240円	300円	+55円	—

# 取扱高・経常利益の推移



(※) 取扱高・・・「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しなかった場合の売上高

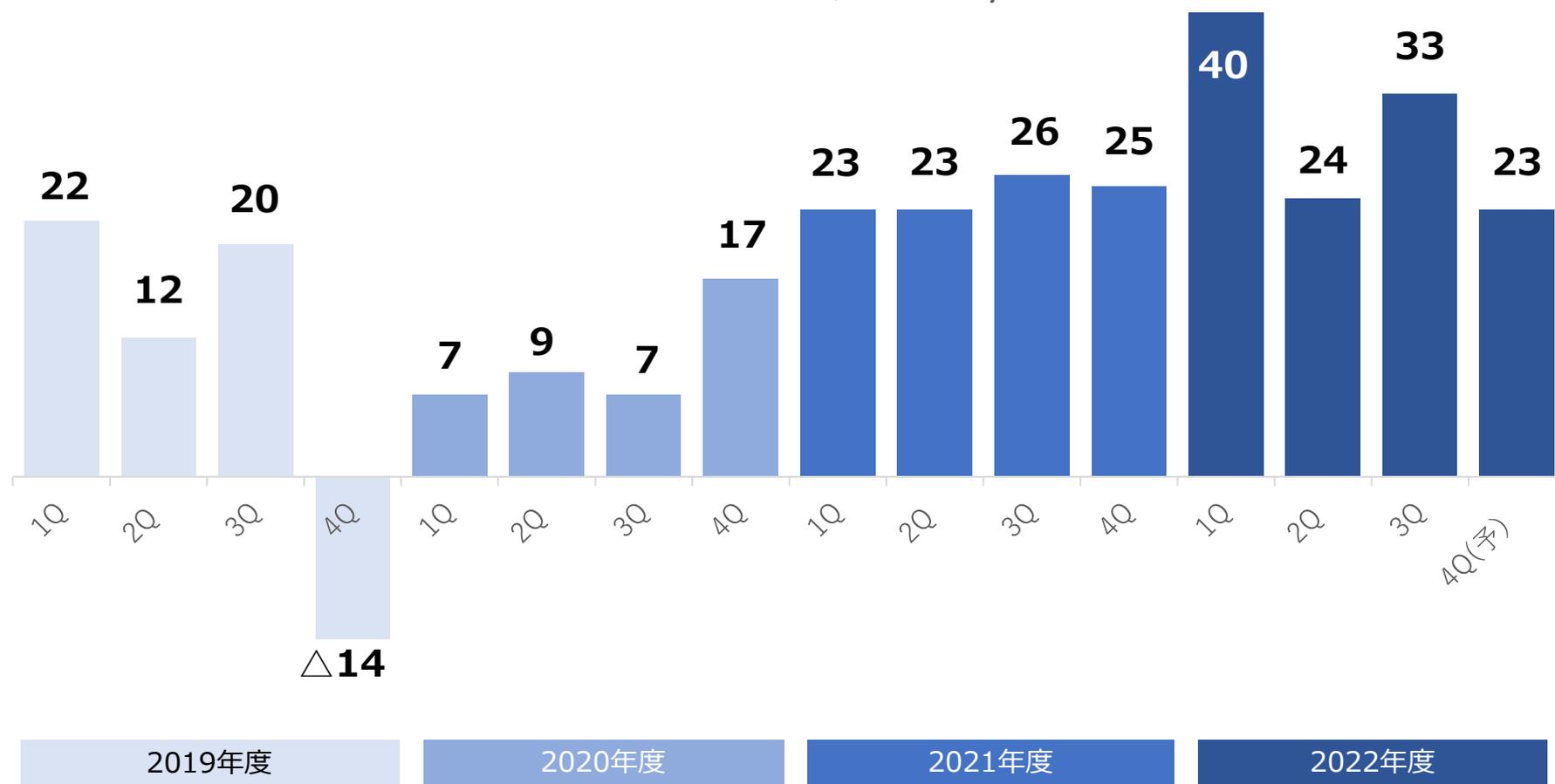


# 経常利益の推移（四半期ベース）

- コロナの影響や鉄鋼セグメントでの減損により赤字に陥った2019年度4Q以降概ね右肩上がり増加

四半期別経常利益推移実績/予想

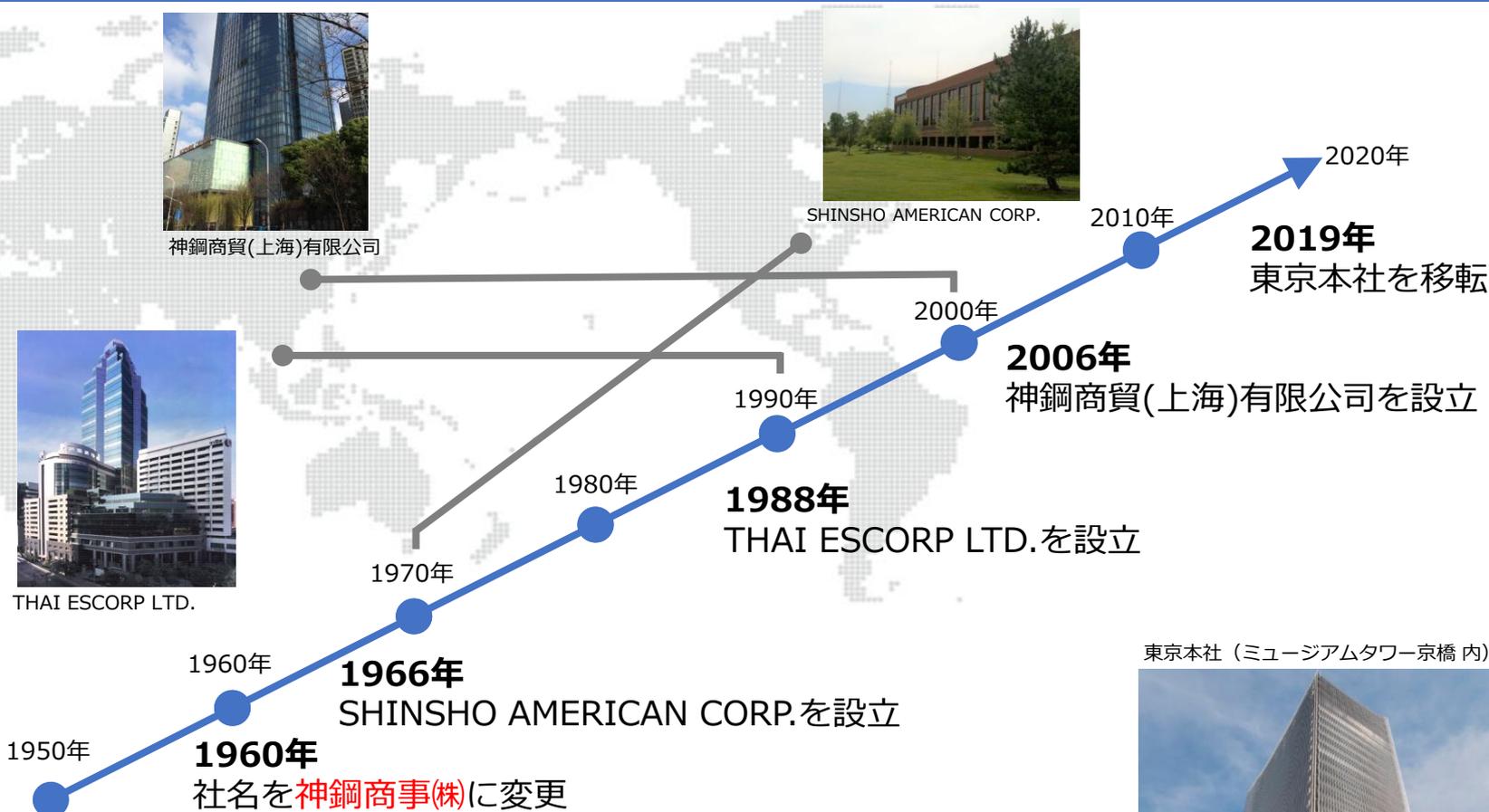
(単位：億円)



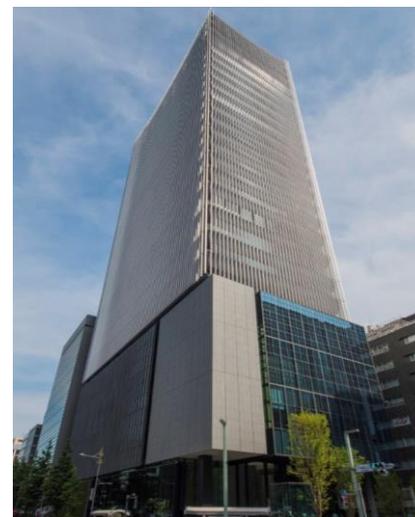
## 神鋼商事株式会社

(2022年3月末時点)

業態	商社
証券コード	東京証券取引所 プライム市場(8075) (2022年4月4日現在)
住所	<b>【大阪本社】</b> 大阪府大阪市中央区北浜二丁目6番18号(淀屋橋スクエア) <b>【東京本社】</b> 東京都中央区京橋一丁目7番2号(ミュージアムタワー京橋)
創業	1946年11月12日
連結子会社数	38社
従業員数	連結：1,497名 (内、平均臨時雇用者数 101名) 単体： 498名 (内、平均臨時雇用者数 58名)
単元株式数	100株
事業内容	鉄鋼、鉄鋼原料、非鉄金属、機械、情報産業、溶材各製品の売買及び輸出入



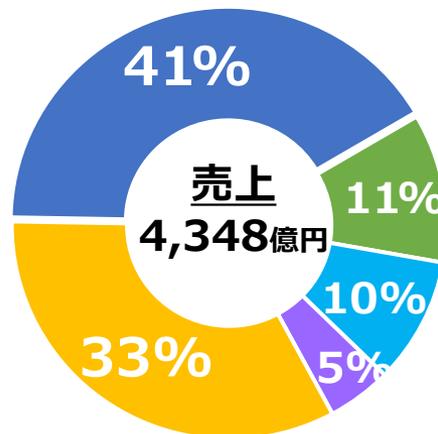
東京本社 (ミュージアムタワー京橋 内)



- 当社は、5つのセグメントで事業を展開
- 鉄鋼・非鉄金属で売上の約74%、経常利益の約65%を占める（2022年度第3四半期累計）

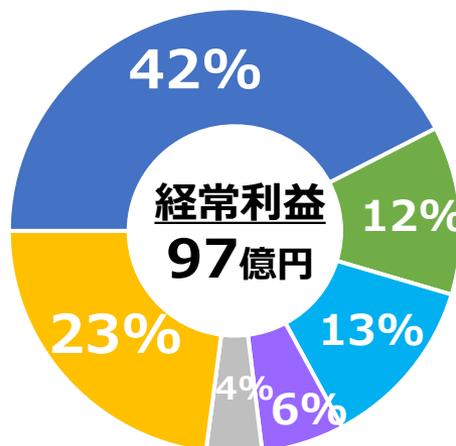
## 鉄鋼

自動車向けを中心に鉄鋼製品を国内・北米・中国・東南アジアに供給  
北米加工拠点の強化等、設備投資・事業投資を展開



## 非鉄金属

自動車・半導体・空調等へのアルミ・銅素材及び加工品の供給  
スクラップ・雑電線等のリサイクルビジネス及び国内外加工拠点の強化・新設



## 鉄鋼原料

鉄鉱石等、製鉄所向け原料を安定供給  
バイオマス燃料、鉄スクラップ等の資源循環型ビジネスにも注力



## 機械・情報

産業機械や建機部品、電子情報関連製品まで幅広い製品を取扱う  
メンテナンスや部品などのアフターサービスにも注力



## 溶材

高品質・高シェアの溶接材料に溶接ロボット等を加えたトータルソリューションを提供



## 企業理念

**私たちは誠実をモットーに、新しい価値の創造を通じて、  
豊かな社会づくりと、みんなの幸せをめざします。**

※本資料に記載されております業績予想並びに将来見通しは、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、現時点で予測可能な情報に基づき当社が判断したものであり、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、様々な要因により記述されている将来予想とは大きく異なる可能性があり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみで投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料の利用で生じた損害を、当社では責任を負いかねますことご承知おき願います。